

令和5年度 大村市立中央小学校 教育活動に関するアンケート集計結果について

1 教育目標

進んで学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成

2 学校経営方針

「ほっ」と心とむ支持の風土の中で、子どもも教職員ものびのびと過ごして共に成長し、その成長に手応えを感じる学校づくりを経営の根幹に据える。→ 思いやり・心配・気配り 自信・自己肯定感

3 重点努力目標

生活に表す

1 やさしく

①自分を大切にし、自分らしさを発揮できる子 ②友達を心配できる子 ③協力することの喜びがわかる子

2 かしく

①善悪を判断し、正しい行いができる子 ②目標を立て工夫する子 ③集中して学ぶ子

3 たくましく

①規則正しい生活ができる子 ②頑張りが利き、我慢ができる子 ③よく働き、人のために役立つ喜びがわかる子

4 評価 <4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない>

項目	質問内容	評価 (%)				の4割と合3	
		4	3	2	1		
学校運営	経営方針	学校は、学校便りや行事、tetoru、ホームページ等で学校の方針や取組を伝えている。	50	48	1	1	98%
	環境整備	学校は、校舎内外の清掃や整理整頓に努め、安全な環境づくりに努めている。	31	62	7	0	93%
	信頼構築	学校は、保護者が信頼して子供を通わせることができるように努めている。	48	50	2	0	98%
	いじめ対策	学校は、いじめをなくすための努力をしている。	26	68	6	0	94%
	不登校対策	学校は、子供が行きたい学校になるように努力をしている。	32	63	4	1	95%
	PTA連携	学校は、PTA（保護者）と、各種行事や子育てについて連携・協力ができている。	29	67	4	0	96%
	地域連携	学校は、地域の方と協力した教育活動を行っている。	36	61	3	0	97%
	学校行事	学校は、日課や行事等を工夫し、子供が生き生きと活動できるよう努めている。	35	62	2	1	98%
学力の保障	授業改善	学校は、子供が分かりやすい授業をめざし、指導を工夫している。	34	62	3	1	96%
	家庭学習	子供は、毎日家庭学習をしている。	49	39	9	3	88%
	I C T活用	学校は、タブレット等の情報機器を活用した指導の工夫をしている。	32	56	12	0	88%
心の教育の充実	あいさつ	子供たちは、明るい挨拶と元気な返事ができている。	32	54	12	2	86%
	規則遵守	子供たちは、きまりを守って生活している。	22	72	6	0	94%
	協力	子供たちは、友達と協力しながら学校生活を送っている。	36	60	4	0	96%
	家庭との連携	学校は、学校での子供の様子を家庭に伝えている。	32	54	13	1	86%
	教育相談	学校は、質問や相談に、親身になって対応している。	41	54	4	1	95%
	人権教育	学校は、命や人権を大切にする教育を進めている。	33	63	3	1	96%
	図書館教育	学校は、子供が読書に親しむ工夫をしている。	28	57	15	0	85%
健康・安全教育	生活習慣	子供は、早寝・早起き・朝ご飯や定時の登下校など、規則正しい生活習慣が身に付いている。	29	57	11	3	87%
	健康教育	学校は、感染症予防や薬物乱用防止など児童の健康教育に努めている。	34	59	7	0	93%
	安全教育	学校は、避難訓練など、児童の安全教育に努めている。	44	55	1	0	99%
郷土教育	ふるさと教育	学校は、「ふるさと（校区・大村・長崎）」の歴史や文化を学ぶ学習を充実させている。	24	64	11	1	88%
	地域との協働	学校は地域の人材や教材を積極的に活用している。	22	66	12	0	88%
応化社会への対変	国際理解教育	学校は、外国の歴史や文化に慣れ親しむ教育活動を行っている。	17	61	22	0	78%
	A L Tの活用	学校は、ALTと協力し、外国語に慣れ親しむ教育活動を行っている。	27	61	12	0	88%

5 分析と今後の取組

【学校運営】

- P T A総会や学級懇談会など、様々な行事等で学校経営について説明を行い、tetoruや学校ホームページ、学校だより等で情報発信を行った結果、経営方針の理解について、肯定的な評価を得ることができました。今後も、ホームページの充実やtetoruを利用した素早い情報伝達など、工夫、改善を図っていきます。
- 学校では、定期安全点検及び日々の校内巡視において、施設の危険個所を把握した場合、早急に市教育委員会に対応を依頼しています。職員も可能な限り修繕対応を行い、児童が安全に安心して学校生活を送ることができるように努めています。今後、校舎内外の整理整頓や清掃に更に力を入れ、清楚で清潔感のある教育環境を目指していきます。
- 今年度は、アフターコロナで、ようやくP T A活動や地域との交流活動が活発に行われるようになりました。今後は、更に学校、地域、家庭が連携を強め、三者が一体となって子供を育てる土台作りを進めていきます。

【学力の保障】

- 12月に実施した標準学力調査では、国語、算数ともに課題が見られました。今後、課題に対する改善策をまとめ、分かる授業を目指し、授業改善を進めていきます。
- 家庭学習については、各学年の時間の目安や取り組み方について、ガイドラインをお示ししています。家庭学習の習慣化に向けて、御家庭の協力を得ながら内容や方法等の改善を図り、充実に努めます。
- タブレット端末については、学年の発達段階に応じた活用を行っています。今後も、職員研修を充実させ、教科指導はもとより、あらゆる教育活動において推進していきます。

【心の教育の充実】

- 高学年を中心に、「名前を付けたあいさつ」が定着してきました。地域の方からも、あいさつが良くなっているという評価を得ています。しかし、まだまだ地域でのあいさつが不十分であるという意見もありますので、進んで挨拶のできる児童を育てる取組を推進していきます。
- 本校では全職員で児童理解に努め、いじめや不登校対策に取り組んでいます。保護者の皆様からの様々な相談に対し、今後も真摯な対応に努めていきます。また、必要に応じてスクールカウンセラー等と連携しながら素早く対応しますので、遠慮なく御相談ください。

【健康・安全教育】

- メディア利用時間の増加により、早寝・早起き・朝ごはん等の基本的な生活習慣の乱れが気になる児童が増加傾向にあります。メディアの過度な利用は心身に影響を与えるため、メディアコントロールと生活時間の見直しについてご協力をお願いします。

【郷土教育、社会の変化への対応】

- ふるさと教育を学校全体で推進し、地域を愛する児童の育成を目指します。総合的な学習の時間等を中心として、地域との交流を活性化させ、地域人材の活用、地域資源の教材化を進めます。
- 本校では、A L Tの協力を得て、英語学習や、児童に外国文化を伝える活動を積極的に行っています。今後は、活動の様子等を学校だよりやホームページ等でお知らせしていきます。